



次世代へ引き継がれる伝統

神舞奉納

10月27日(日)、都萬神社において、『神舞』が奉納されました。舞台では、神舞奉納の前に、町青年団による太鼓グループ『鼓響』に

同神社の神舞は、戦時中より長い間途絶えていましたが、『大崎伝統芸能神舞保存会』(会長・小屋健二さん)が中心となり、約2年の歳月をかけて準備・練習を重ね、平成22年に町商工会青年部員により神舞4段(弓舞・四人鬼神舞・薙刀舞・田之神舞)が復活・奉納されました。『火の神・大王』は、イザナギと

奉納に先立ち、同保存会会長が、「発起人である故 中野孝喜さんの執念とも思える情熱で神舞が復活してからの4回目の奉納となります。保存会のメンバーは9月から練習を重ねてきました。今回は商工会青年部、

町青年団、役場若手有志、大崎小学校の児童の協力で昨年より神舞2段が増え、10段の奉納を行います。また、郷土の伝統である『神舞』を永く引き継いでいきたいと思います。」と挨拶されました。

を閉じました。

